



学校紹介 ~その9~

☞ 体育祭

9月27日(木)に体育祭が予定されています。放送などで地域の皆様には多少ご迷惑をおかけすることと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



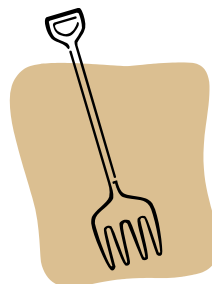
プログラム

1. 開会式……17:35
2. 競技開始……18:00
 - ① 徒競走予選
 - ② 障害物競走
 - ③ クラス対抗リレー予選
 - ④ 1000m競争
 - ⑤ 綱引き
 - ⑥ 部活対抗リレー
 - ⑦ 徒競走決勝
 - ⑧ 長縄跳び
 - ⑨ クラス対抗リレー決勝
3. 閉会式……20:45



☞ 地域と学校

秋の収穫に向けて、サツマイモと落花生の生育具合を調べるために試しに数株掘り出してみました。夏休み後半からパソコン教室の準備や新学期の行事のため、畑に行く機会がめっきり減ってしまったので、作物の様子が気になっていましたが、立派に成長している様子なので安心しました。ますます収穫が楽しみになってきました。



☞ 職員紹介②

高瀬朝彦 (たかせともひこ)
教科：地歴公民・社会

☞ 生活体験発表会(阪丹大会)の結果

9月15日(土)に尼崎市立労働福祉会館において生活体験発表会(阪丹大会)が実施されました。本校からは代表として3年生の橋本さん(演題「青春、大爆発」)、Iさん(演題「私、女子高生です」)の2名が参加し、橋本さんが優秀賞に選ばれました。

橋本さんは10月13日(土)に小野市で開催される県大会への出場が決まりました。

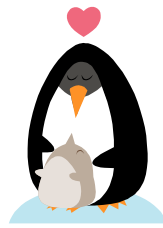


私事ですが、昨年11月に長女を授かり、36歳で父親になりました。教師としていつかは自分の子を持ち、育て、親(保護者)の立場になりたいとずっと思っていました。けど、いざ生まれてみると大変です。おむつ替え、抱っこ、夜泣き、理由のない号泣……。 (私より家内のほうが100倍大変だとわかっていますが) 子どもを育てるといことはなんて大変で、我慢の連続なんだろうと思いました。けど、私に笑いかけながら、ずりずりと這ってくる姿を見るたび、すべての大変なことはすーっと消えてしまいます。不思議ですね。

今年4月に本校に赴任して、前任校との環境の変化に戸惑うこともありましたが、教室で生徒たちに会うと、なぜかほっとした気持ちになれます。

昨日あった大変なこともすーっと消えてしまいます。不思議です。

教師人生の3分の1が過ぎました。まだまだ日々勉強することばかりです。大変なこともあるけど、大切な生徒たちと一緒にこれからも頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



☞震災ボランティア体験記②



出発前の説明で過疎化が進んでいることを聞いていたので、ある程度閑散とした風景を予想し、何の違和感もなくその場に立っていましたが、空き地と思っていた所をよく見ると、おそらくそこに住んでいた人や縁のある人が置いたと思われる花瓶が供えてありました。実際にはそこら中に家があり、この場でたくさんの方が暮らしていたのだと思うと、地震や津波のすさまじさを改めて思い知らされました。

小屋での話が終わり、裏手にある地区の中学校に行きました。3階建ての校舎は、津波のため2階まで浸水し、地域一帯が水没した時は、屋上に100人近い方が避難し、一晩を過ごしたと聞きました。



校舎の入り口には、犠牲になった生徒を追悼するため、保護者の方や地域の方が建てた追悼碑と、その子たちを弔うため残った同級生達が机に書いた寄せ書き、新しい献花やお供えものがありました。語り部さんから話を聞くと、地震の日は卒業式で、逃げ遅れ犠牲になった子の半数以上は、式を終えて校舎から離れた生徒だと聞かされました。

(次号最終回です)



10月の行事予定



- 10月 1日(月) ……カウンセリング
- 13日(土) ……生活体験発表会(県)
- 16日(火) ~ 19(金) ……中間考査
- 21日(日) ……阪丹秋季大会
- 22日(月) ……カウンセリング
- 24日(水) ……人権行事(映画鑑賞)
- 31日(水) ……人権ホームルーム



11月の行事予定



- 11月 5日(月) ……カウンセリング
- 11日(日) ……珠算電卓実務検定
- 21日(水) ……文化祭(ステージ)
- 22日(木) ……文化祭準備
- 23日(金) ……文化祭(模擬店・展示)
- 25日(日) ……ワープロ実務検定
- 26日(月) ……文化祭代休
- 28日(水) ……カラーセラピー



編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」

昔の人はよく言ったもので、あれだけ暑かった夏も「彼岸」の声を聞いたとたん、すっとなりを潜めて、ここ数日はずいぶんと秋めいて参りました。

猛暑といわれたこの夏、いろいろな出来事がありました。オリンピックの白熱した演技や金・銀・銅の感動。本校でも全国大会での活躍や生活体験発表会での奮闘などなど、生徒たちは一生懸命に取り組んで素晴らしい成果を上げてくれました。

過ぎしづらかった今夏も、過ぎ去るとなれば一抹の寂しさを感じます。それはおそらく夏の思い出が、ともに薄れゆく寂しさによるものでしょう。

生徒たちは様々な経験を「過去」に刻みながら、少しずつ成長していきます。何回も何回も夏を重ねながら人として育っていきます。今後も彼らの活躍を、薄れ遠ざかる思い出ではなく、確かな記録としてこの紙面にとどめて行きたいと思います。